

# 令和3年産(2年播)麦生育情報 No.4 (R3.3.25)

(情報作成)滋賀県農業技術振興センター

(次回は4月上旬の予定)

滋賀県近江八幡市安土町大中 516 (TEL:0748-46-4391)

## 1 気象経過と生育状況

### ① 気象の経過 (彦根气象台、平成23～令和2年の平均値との比較)

要素		平均気温	日照時間	降水量
期間				
2月	上旬	高い	やや多い	平年並
	中旬	かなり高い	多い	平年並
	下旬	高い	やや多い	やや少ない
3月	上旬	高い	平年並	やや少ない
	中旬	高い	やや多い	平年並

注) 平均気温 <±0.5℃:平年並、±0.5～1.0℃:やや高い(低い)、±1.0～2.0℃:高い(低い)、±2.0℃<:かなり高い(低い)  
 日照時間 <±5hr:平年並、±5～10hr:やや多い(少ない)、±10～15hr:多い(少ない)、±15hr<:かなり多い(少ない)  
 降水量 <±10mm:平年並、±10～20mm:やや多い(少ない)、±20～30mm:多い(少ない)、±30mm<:かなり多い(少ない)

### ② 生育状況

農業技術振興センター麦類作況調査(11月5日播種)では、「農林61号」の茎数はこれまで平年並に推移していたものの、3月中旬の調査時には平年よりやや少なくなっている。また、草丈は平年に比べて長く、葉数は1.3枚多い。「ふくさやか」の茎数はこれまで平年に比べて多かったものの、3月中旬の調査時には平年並になっている。また、草丈は平年に比べ長く、葉数は平年並になっている。「びわほなみ」は2月中旬の調査時と同様の傾向で推移しており、平年に比べ茎数は少なく、草丈はやや長く、葉数は0.6枚多い(表1、後掲グラフ)。

表1 令和3年産(2年播)麦類作況調査の結果

農業技術振興センター(近江八幡市安土町大中)

品種名	年次	2/16 調査			3/15 調査		
		茎数 (本/m <sup>2</sup> )	草丈 (cm)	葉数	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	草丈 (cm)	葉数
農林61号	R3年産	764	29.5	6.9	630	43.0	8.8
	平年値	728	22.3	5.9	704	34.2	7.5
ふくさやか	R3年産	788	33.6	6.5	678	52.2	7.9
	平年値	654	21.2	6.2	644	34.6	7.8
びわほなみ	R3年産	832	28.8	7.2	708	46.2	8.7
	平年値	975	24.1	6.6	859	43.0	8.1

※播種日は、令和2年11月5日。

※「農林61号」・「ふくさやか」の平年は、平成24～令和2年産(平成23～令和元年播)の9年間の平均値。

※「びわほなみ」の平年は、平成28,30～令和2年産(平成27,29～令和元年播)の4年間の平均値。

※播種様式は条播(条間25cm)、設定播種量は8kg/10a(実際播種量:8.8～9.5kg/10a)。

## ☆3月15日現在の小麦の生育状況(農技センター作況調査)



「農林61号」



「ふくさやか」



「びわほなみ」

## 2 県内の状況

- 1月下旬から気温が高く、生育は進んでいる。11月上旬播き小麦「ふくさやか」では止葉出葉期を迎えている。
- 茎数は早い時期から減少し始め、平年並からやや少なくなっている。

## 3 今後の管理

### (1) 排水対策

- 排水不良は、根の伸長が不十分となって登熟期にまで影響が及び、収量および品質低下を引き起こすので、溝に水がたまっている場合は溝さらえを行うなど、引き続き徹底した排水対策を講じる。

### (2) 六条大麦の止葉出葉期追肥(麦茶用途を除く)

- 六条大麦では、止葉が出始めた頃(農技センター作況調査の予測では3月30日頃)に窒素成分で2kg/10a程度を4月上旬までに施用する。施用時期が遅れると硝子粒の発生が多くなるので注意する。
- 基肥一発体系の場合は止葉出葉期追肥を施用する必要はないが、葉色が極端に淡い場合は早急に施用する。

### (3) 小麦の実肥

○小麦の実肥は、**開花期（出穂 10 日後頃）に窒素成分で 3～4 kg/10a** 施用する。

（留意点）

- ① 3 月中旬時点で生育は平年より 1 週間程度早く進んでおり、向こう 1 か月の気温も平年より高くなる確率が 70%と予想されていることから、**出穂期は平年よりさらに早くなる**ことが予測される。
- ② 3 月中旬時点では**実肥施用適期は 11 月上旬播種「農林 61 号」で 4 月中旬と予測**しているが、播種時期や地域により生育に大きな差があるので、気象予報に注意を払いながら、麦の出穂、開花状況をよく見て対応する。
- ③実肥施用量は、**茎数が多いほ場（約 300 本/m<sup>2</sup>以上）では窒素成分で 4 kg/10a とし、それより少ないほ場では 2～3 kg/10a に減らす。**
- ④ 3 月下旬～4 月上旬に葉色が淡く茎数が少ない場合は、収量を向上させるために出穂 7 日前（走り穂が出る直前頃）に窒素成分で 2 kg/10a 程度追肥し、さらに出穂 10 日後（開花期）に 2～4 kg/10a の実肥を施用する。

### (4) 赤かび病防除

○小麦および六条大麦は**開花始め～開花期に、二条大麦は穂揃い 10 日後頃**に農薬を散布する。

○小麦（びわほなみ）および六条大麦は、開花始め～開花期とその 1 週間後に農薬を散布する。

○小麦（びわほなみを除く）および二条大麦については、1 回目の防除の後に降雨が続く場合、雨の止み間を見て追加防除を行う。

（留意点）

今作は生育が進んでいるため、**開花期は平年より早くなると予想**される。麦の出穂、開花状況や天候等に注意を払いながら適期防除に努める。なお、「びわほなみ」は赤かび病に弱く、「農林 61 号」より開花時期が 3～4 日早いので、防除が遅れないよう注意する。

#### 【参考】麦類作況調査における出穂期・開花期・成熟期の平年値

農業技術振興センター（近江八幡市安土町大中）

	農林61号		ふくさやか		びわほなみ		サチホゴールド	ファイバースノウ
基準播種日	11/5	11/20	11/5	11/20	11/5	11/20	11/5	11/5
出穂期	4/16	4/23	4/12	4/21	4/8	4/16	3/29	4/15
開花期	4/26	5/1	4/24	4/29	4/20	4/25	-	4/22
成熟期	6/4	6/7	6/1	6/4	5/29	6/3	5/18	5/26

※平年は、「農林61号」、「ふくさやか」、「ファイバースノウ」は9年間（2012～2020年産）、「サチホゴールド」は8年間（2012～2016、2018～2020年産）、「びわほなみ」は11/5播種が5年間（2016～2020年産）、11/20播種が4年間（2016、2018～2020年産）の平均値。

**【参考サイト】**

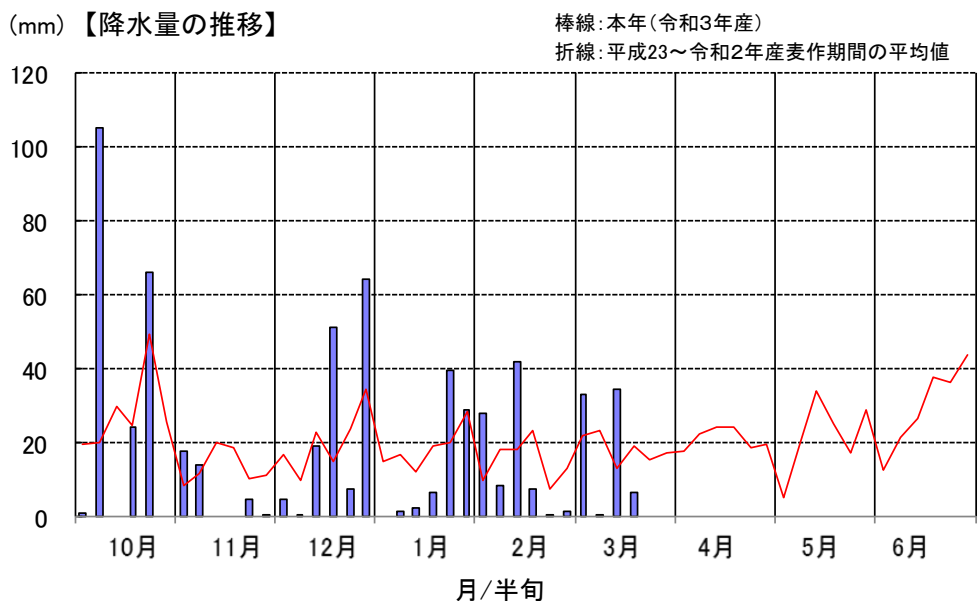
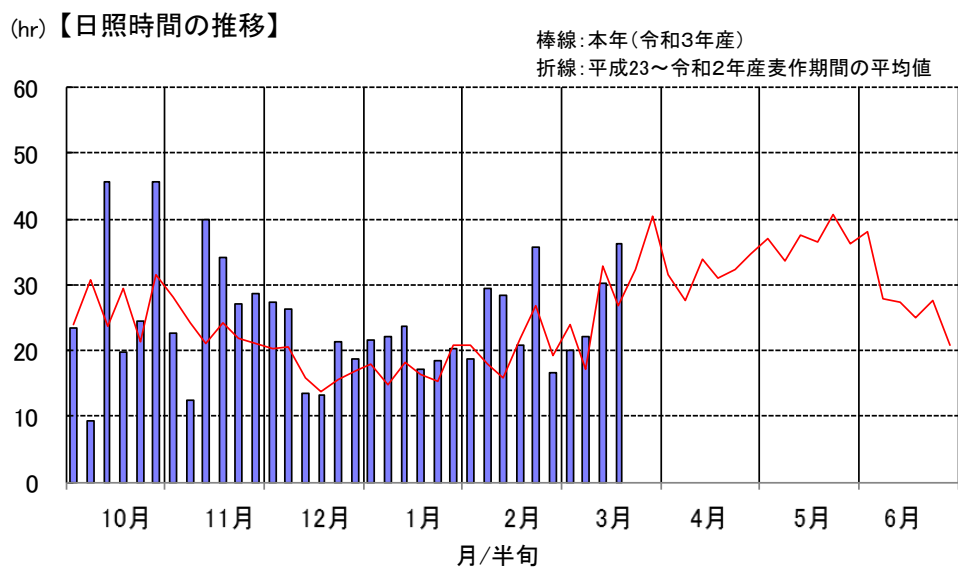
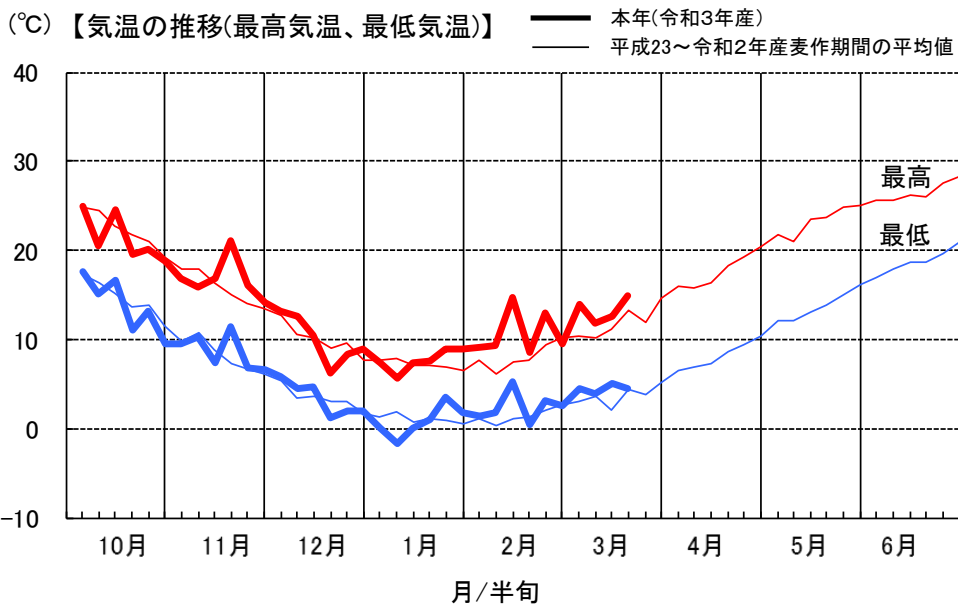
農業技術振興センター <http://www.pref.shiga.lg.jp/nougicenter/>

病虫害防除所 <http://www.pref.shiga.lg.jp/boujyo/>

彦根地方気象台 <http://www.jma-net.go.jp/hikone/>

早期天候情報 <http://www.jma.go.jp/jp/soukei/>

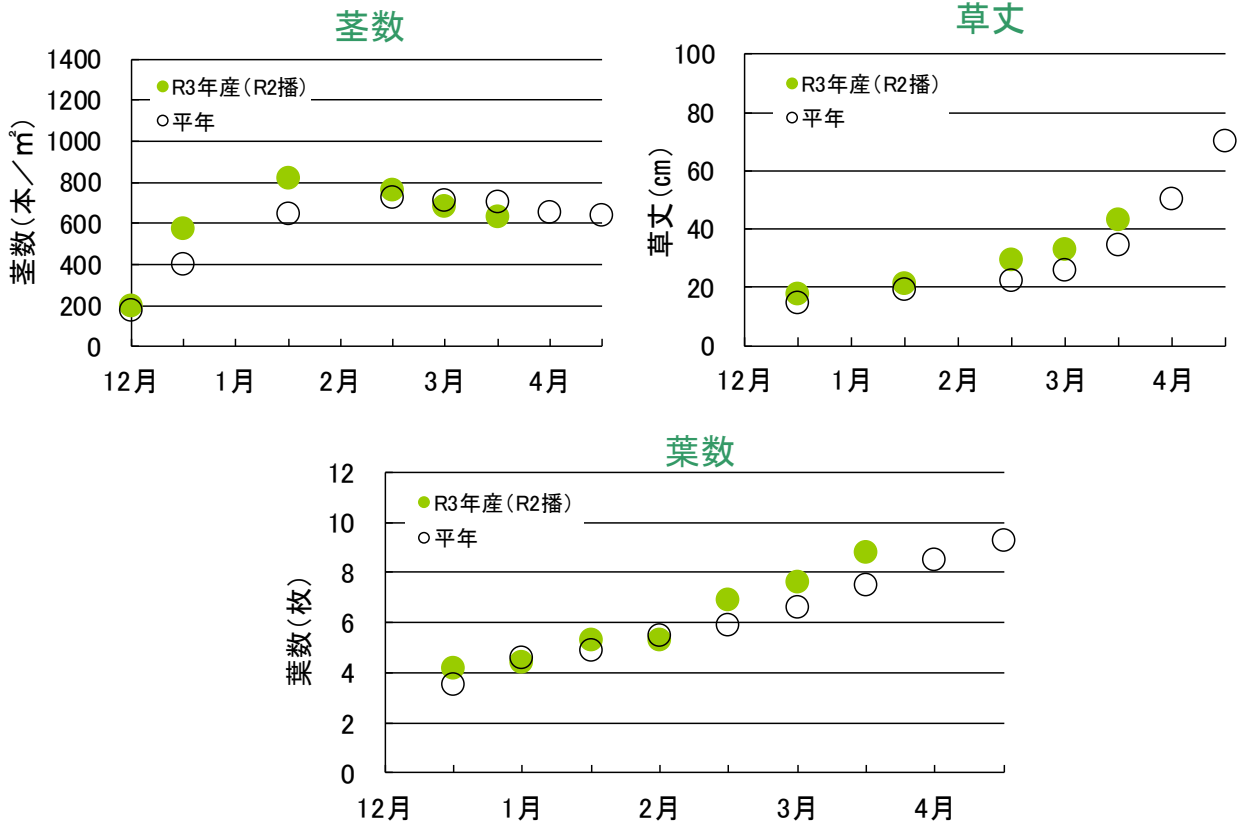
令和3年産(令和2年播) 麦作期間半旬別気象図(彦根気象台観測)



# 令和3年産生育調査結果（1）

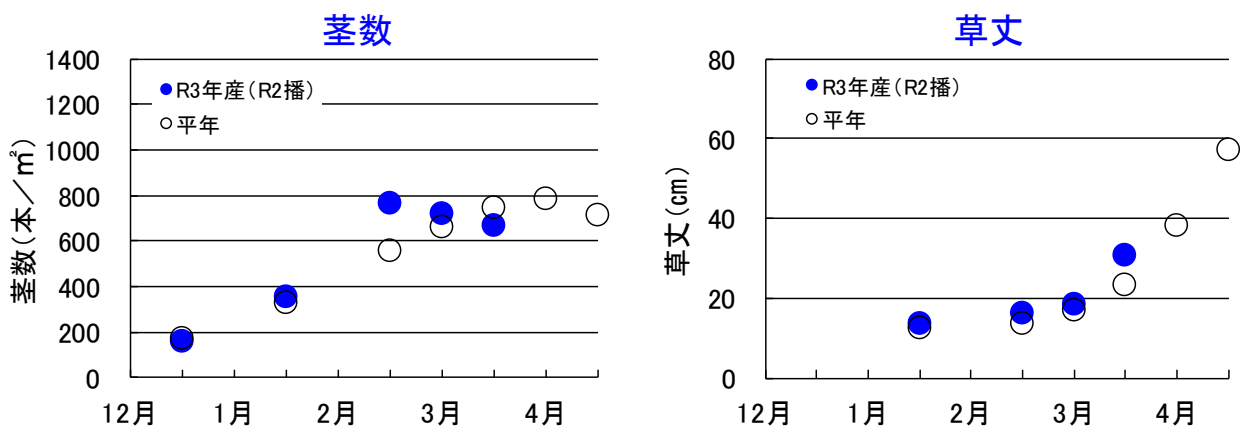
## 「農林61号」

### 令和2年11月5日播



### (参考)

### 令和2年11月19日播

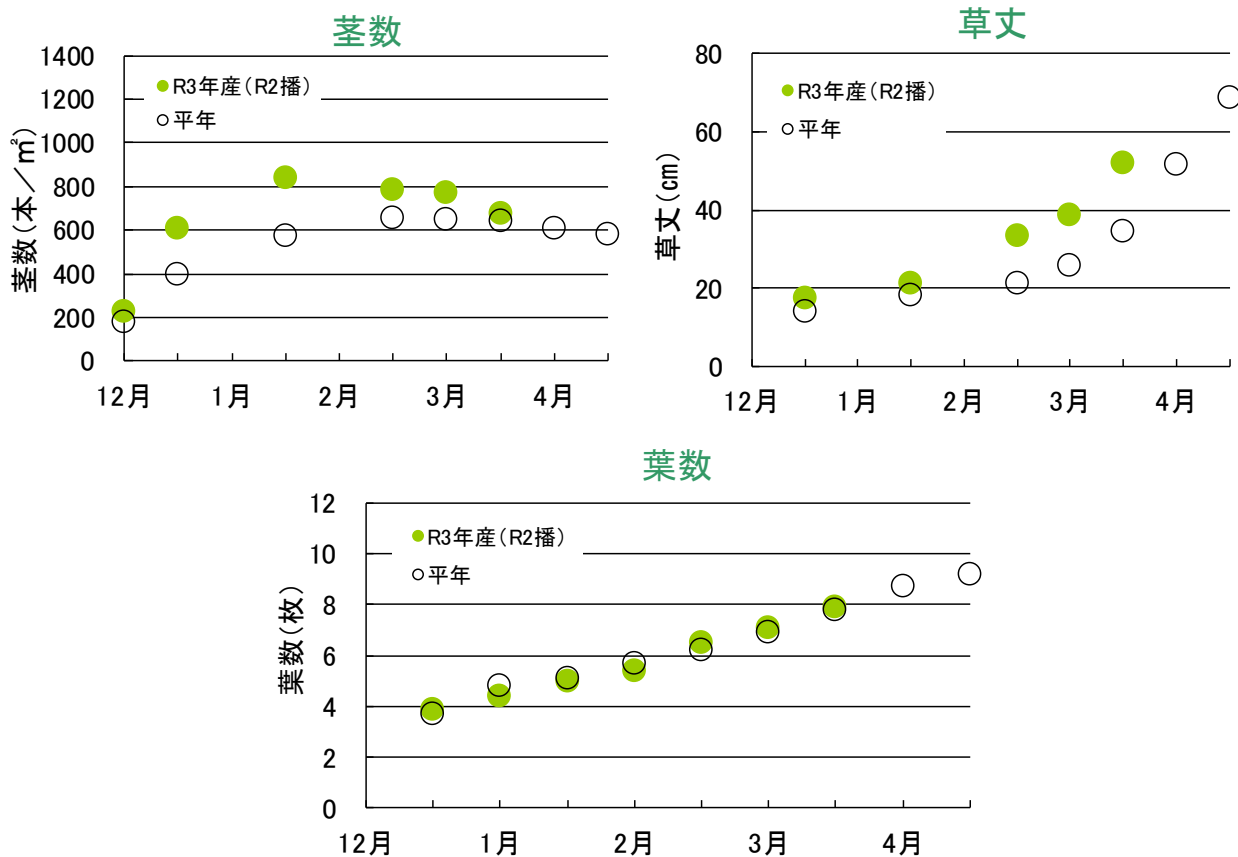


※草丈、茎数、葉数の平年値は、平成24～令和2年産(平成23～令和元年播)の9年間の平均値。

## 令和3年産生育調査結果（2）

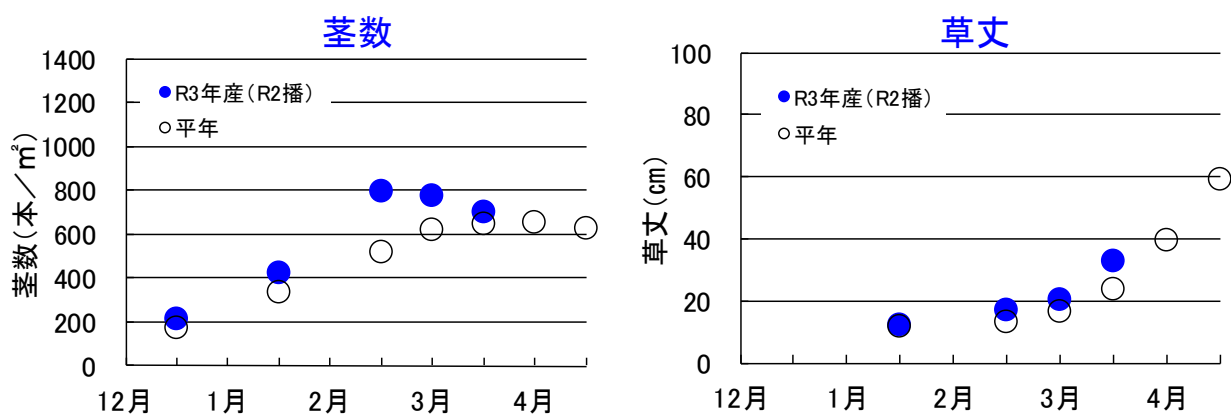
### 「ふくさやか」

令和2年11月5日播



(参考)

令和2年11月19日播



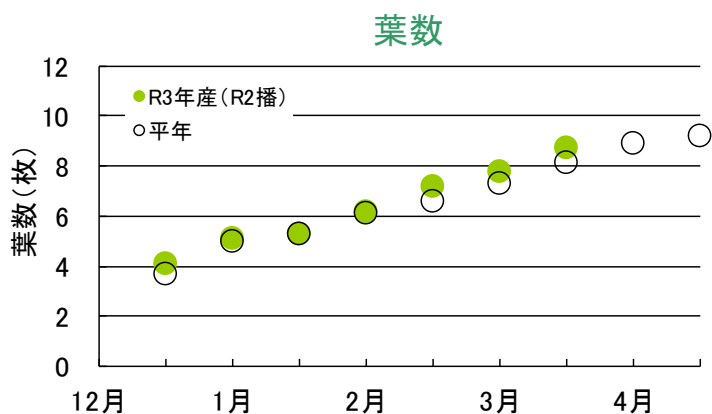
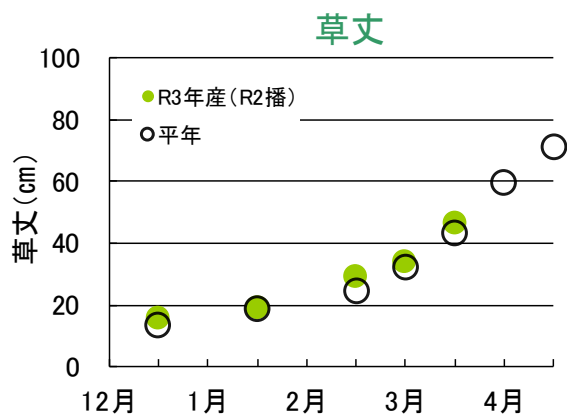
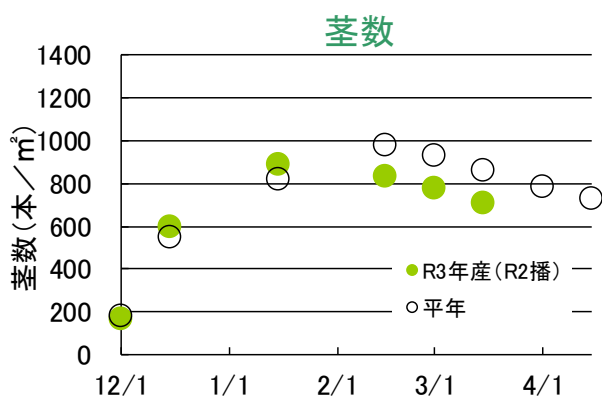
※草丈、茎数、葉数の平年値は、平成24～令和2年産(平成23～令和元年播)の9年間の平均値。



# 令和3年産生育調査結果（3）

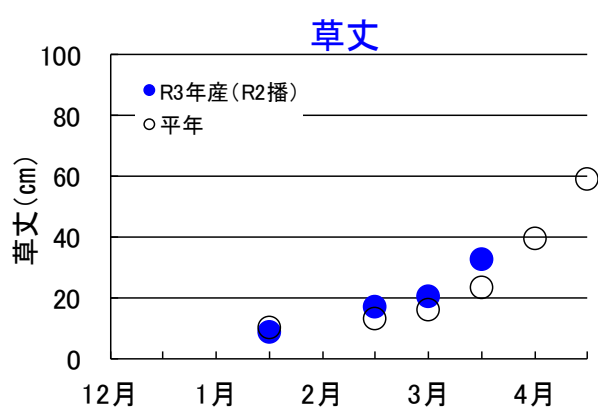
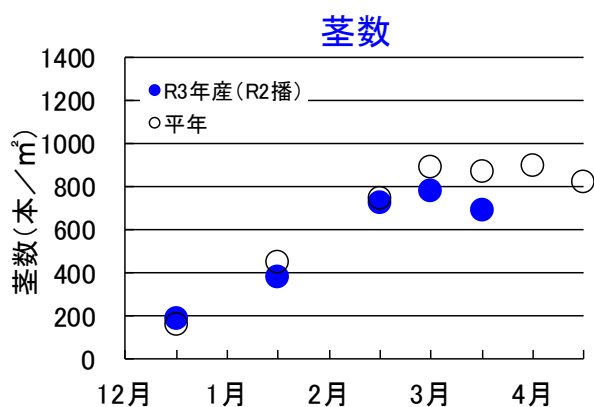
## 「びわほなみ」

令和2年11月5日播



(参考)

令和2年11月19日播



※草丈、茎数、葉数の平年値は、平成28,30～令和2年産(平成27,29～令和元年播)の4年間の平均値。